

# 健 や か 運 動

## 協力店だより

練馬区子どもたちを健やかに育てる運動（健やか運動）は、区民の皆様が、青少年の健全育成について認識を深め、地域、学校および行政が一体となり、非行を防止していくことを目的とする運動です。

この運動では、健やか運動協力店の活動・青少年育成地区委員会による協力店加入要請活動や青少年を取り巻く環境実態調査、夕べの音楽の放送のほか、健やかカレンダーを発行しています。

健やか運動協力店の皆様や、青少年育成地区委員を始めとして、区民の皆様が子どもたちを見守り、声をかけ、導いてくださるようご協力をお願い致します。



子どもたちを健やかに育てる運動協力店

## こども まんなか

11月はこども家庭庁が提唱する

令和5年度『秋のこどもまんなか月間』

練馬区では、こどもまんなか社会の実現にむけて、「青少年を取り巻く環境実態調査」に取り組みます。

子どもたちの健全な育成に影響を与える雑誌やDVDなどの陳列状況を調査します。11月中に青少年育成地区委員会の委員が各商店、コンビニなどに伺い調査します。ご協力ください。

子どもが健やかに育ち、豊かな人間への成長は社会全体の願いです。地域の皆様からの子どもへの声かけが、あいさつの輪を広げ、地域の安全安心につながります。

子どもや、子育て中の方が気兼ねすることなく、制度やサービス等を利用できるように、様々な場で、年齢、性別を問わず、地域の全ての人により、子どもと子育て中の方を応援する環境づくりを進めます。

秋のこどもまんなか月間についてもっと知りたい方はココからチェック  
(こども家庭庁HP) <https://www.cfa.go.jp/mannaka-mark>

令和5年11月1日発行

発行責任者 練馬区教育委員会事務局 こども家庭部 青少年課  
〒176-8501 練馬区豊玉北6-12-1 03-5984-4691(直通)  
健やか運動についてもっと知りたい方はココからチェック (区HP)



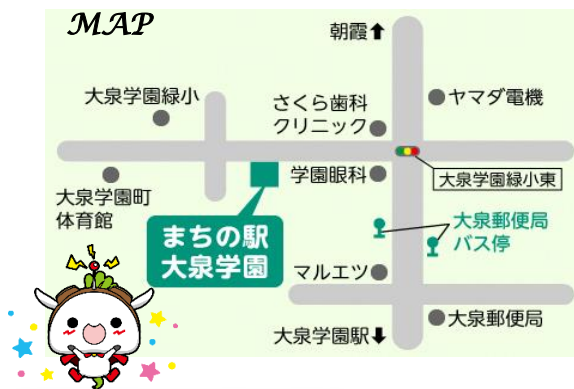
# 協力店にインタビュー



今号は、青少年育成大泉北地区委員会のご協力をいただき、大泉学園町5丁目にあるNPO法人まちの駅大泉学園さんにお話を伺いました。



「人気メニューは、カレー、唐揚げ、ハンバーグ。みんなで食べるから、うまい。」（右：田中さん）「温かいごはんを食べてもらいたくて...お越しくださる方の笑顔がなによりの励みです。」（左：黒田さん）



近隣の方々の相談、情報交換の場所を提供しています。福祉施設の作品を販売や、休憩スペースもあります。



## 🔪 健やか運動協力店への加入のきっかけを教えてください。

地域福祉活動として何かできないかを模索していた折、区の相談情報ひろばを勧められ、有志で「住民の交流や絆のためにやってみましょう」と話し合い、NPO法人まちの駅大泉学園をはじめました。どなたでも出入りしやすい駅をイメージして名付けました。ドライブで通りかかる道の駅には地場産業が集まりますが、そのイメージで「お野菜ありますか？」と電話をかけてきたお客様もいて、地域のみなさまに親しみを持っていただいているようです。大勢の方に寄って欲しい気持ちから「明るい子ども明るい店」の協力店（健やか運動協力店）へ加入しました。



（写真左）右から順に  
NPO法人まちの駅大泉学園  
黒田さん 田中さん  
大泉北地区委員会  
並木副会長 山田事務局長

写真左：店の玄関のガラスドアはいつも磨かれている。「健やか運動協力店ステッカー」の標示もびかびか。  
下：店全景



## 🔪 小学校、中学校に近い立地で、お店を開店した理由を教えてください。

約10年前に現在の店舗に空きがでたため大泉学園通りの商業施設から現在地に移りました。お店を住宅街に構えたことで、より地域のみなさまを身近に感じます。例えば、車が住宅街を抜けて行くとき、子どもたちと安全な距離がとられているか、雨が降り出したとき、雨具の準備はあるか、公立私立の通学時間は異なりますが、子どもたちが下校時に元気に挨拶してくれるか等、地域のみなさまの暮らしがごく身近になりました。地域の子どもたちは全員よい子です。



## 子どもたちが地域で安全安心に過ごすためにはどのようなことが大切ですか？

顔見知りになろうと心がけています。スタッフは元学校応援団、元青少年委員、民生委員という大人。子どもから見れば、スタッフは地域の知っている人で、どこで会っても分かります。「それに『こういう恰好』しているしね」と、はじけるスマイル。ユニフォームのエプロン、ゼッケンベストはコミュニケーションに心配りの証しです。



写真：商品の肩たたき棒  
品ぞろい多く、おうちの方へ『クッキーを買いに来たよ』とひとりで選びに来る子どももいます。



二階は中学生の学習スペースにも適した空間です。



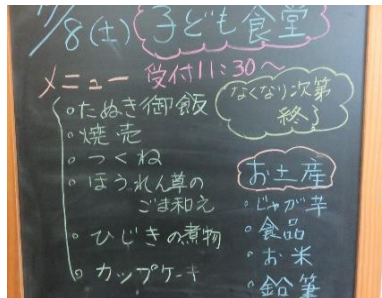
写真左：2階全景 写真右：花柄のテーブルの相談情報コーナーの一部

## 地域の子ども食堂や子どもたちへの見守りをされていて嬉しかったことはありますか？

新型コロナウイルスの感染が落ち着いてきたので、子ども食堂の運営を再開しました。月に1回、親子参加含めて、30人子どもたちが訪ねてくれます。子どもたちの「めっちゃ、おいしかった！」と言う声や、友達を誘って来てくれると、日々工夫してきて良かったと思えるハレの日です。コロナ禍前は担任の先生が見学に来て児童の楽しそうな姿を見て安心してくれました。親子で参加して野菜の苦手意識を克服したり、子どもの成長を地域の大人みんなで実感し共感できる場にしていきたいと思っています。



毎回、農家などから野菜や米の寄付があり、子ども食堂を運営しています。「このためにお使ください」とお金を寄付して下さる方もいます。地域の志がある中で、前もってみんなで動いているからこそ成せることだと気づかされます。



子ども食堂はおみやげつき。子ども用にはかわいい文具もあるよ！



アテこ  
さいど  
んにも  
がは食  
参約堂  
加3運  
し0営  
て人に  
いの持  
まポッ  
す。ラ  
ンミ  
ティ  
ユニ

大泉まちの子ども食堂の運営の要は、米の美味しさです。地域の方々の志で当日のタイムスケジュールもするする完成します。作ったり配膳したり手をもらうだけではなく、相談を持ちかけたり営みを支え合う同志です。

## 地域の子どもたちや保護者の方にメッセージをお願いします。

まず大人が地域に関心を持ち、理解を深めると、子どもたちは安心します。子どもたちには、もし困ったことがあったら、私たちの顔を思い出してくれるといいなと思います。ウォーターサーバーや、トイレもあるので、親戚のお家みたいに顔を見せてくれたらうれしいです。もっと気楽に、普段着のままどうぞいらしてください。

### ■地域の方々とつながる■お二階の様子を紹介します。

古典文学を楽しむ会、食のほっとサロン等の場として活用しています。QRコードから見てください。



公式ホームページ  
はこちらから



子ども食堂の  
LINEはこちら

### ■編集後記■

57号発行は青少年育成光が丘・大泉東・大泉北地区委員会が担当しました。次号（58号）は、光が丘の協力店にインタビュー、第八、上石神井の環境部委員のメッセージを予定しています。どうかお楽しみに。

## 各地区委員会より

### 子どもたちの安心安全な環境づくり

光が丘地区委員会の区域内には、4つの小学校（光が丘四季の香、光が丘春の風、光が丘夏の雲、光が丘秋の陽）と3つの中学校（光が丘第一中、光が丘第二中、光が丘第三中）があります。

新型コロナの影響もあり、ここ3年間ほどは、人の行動が制限され往来が少なくなっていました。制限がなくなり子どもたちの活動も活発になってきています。

光が丘地区には「光が丘IMA（イマ）」という大型商業施設があり、令和2年には、改装リニューアルをし、人の往来が多くなったように思われます。1店舗1店舗に、子どもたちの健やかな育成環境づくりについてお願いに回ることは難しく、店舗を統括している新都市ライフホールディングスさんに年2回育成地区委員がお願いに伺い、協力して、子どもたちの安全安心な環境づくりに取り組んでいます。

IMAの中を回ってみると、子どもたちを健やかに育てる運動協力店のステッカーを、レジ横などに貼ってくださっているお店もあり、地域の子どもたちを見守ってくださっていることを実感しています。

また、近隣のコンビニエンスストアやIMAの中の書店を回り、年2回程度不健全図書や雑誌類等の状況をチェックし、都や区に報告を行っています。

人と人との繋がりが希薄になりつつある昨今、あらためて今一度地域の子どもたちに目を向け、地域で子どもたちを育てる活動に取り組んでいければと思っています。

健やか運動協力店のみなさまならびに地域のみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

青少年育成光が丘地区委員会 環境部長

藤井 佐喜子



### 地域の見回りの輪をさらに大きく

大泉東地区委員会は、小学校4校（大泉、大泉東、大泉南、橋戸）、中学校2校（大泉、大泉第二）の学区域を含んだ地域で活動しています。主な活動としては潮干狩り、秩父キャンプ、親子でのお芋ほり、野菜収穫体験、手作り教室、中学生対象のアニメ制作体験などです。区域内には、西武池袋線の大泉学園駅を中心とした賑やかな商店街と静かな住宅街そして緑豊かな畑や雑木林もあります。混雑していた駅前も整備されて見違えるようになりましたが、新しい店舗が開店する一方で、慣れ親しんだ個人商店の休業や閉店も見られるようになりました。

現在、「健やか協力店」として、65店舗の皆様にご協力をいただいています。日頃より子どもたちを暖かく見守っていただき、心より感謝申し上げます。

環境部では、区域内で開催される秋祭りなどに青少年委員とPTA委員と一緒に見回りを行い、子どもたちに声をかける見守り活動を行っています。また12月を健やか運動月間として、区域内の雑誌自動販売機等の調査に合わせて「健やか運動」協力店への加入依頼活動を行っています。

その地域を回る中で、協力店の方に子どもたちの放課後の様子をお聞きして、その様子を学校やPTAとも共有することが出来ています。私たちが見ている子どもの様子はまだ一面でしかありません。それを地域の協力店の方が知らせてくれる様子で補うことによりよりよい地域の見守り活動や環境づくりに大いに役立てています。

協力店のみなさま方、これからも継続をよろしく願いいたします。そして協力していただけるお店を増やしていくことにより、地域の子どもたちを見守る輪をさらに大きなものにしていきたいと思っていますので、「健やか運動」へのご協力をよろしく願いいたします。

青少年育成大泉東地区委員会 環境部長

小松本 幸美

